

漁海況情報第2報 (2016年5月11日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

仙台湾の表面水温は平年並、金華山沖の表面水温及び100m深水温は平年よりも高くなっています。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、11～15℃台となっています。平年と比較すると、仙台湾は概ね平年並ですが、金華山沖は沖合から北上暖水が波及し、1～5℃高めとなっています。

100m深水温は8～11℃台となっており、平年より2～4℃高くなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、38° 30' Nライン、38° Nラインでは沖合から暖水が波及し、142° 30' Eの表層水温は15℃台となっています。[P2.水温鉛直断面図]。

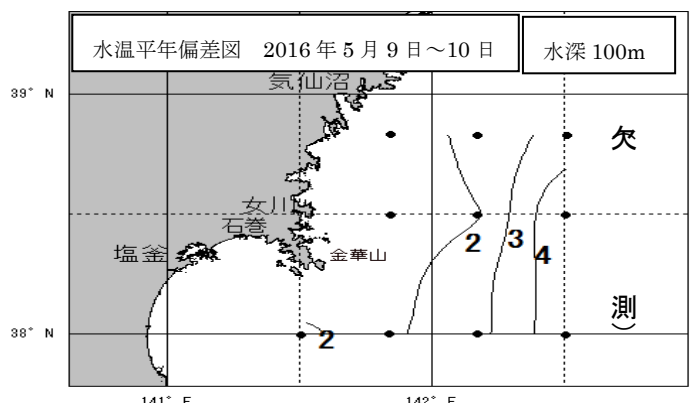
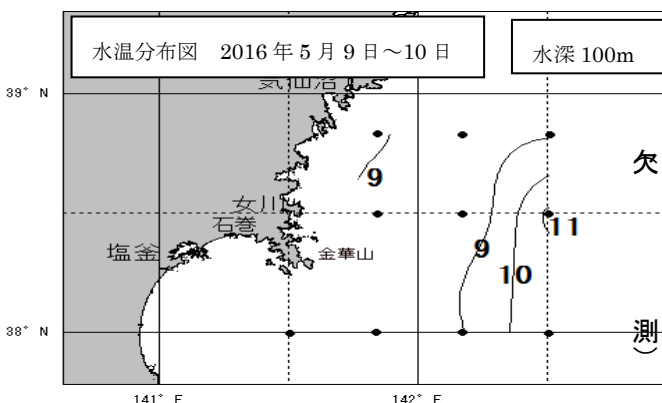
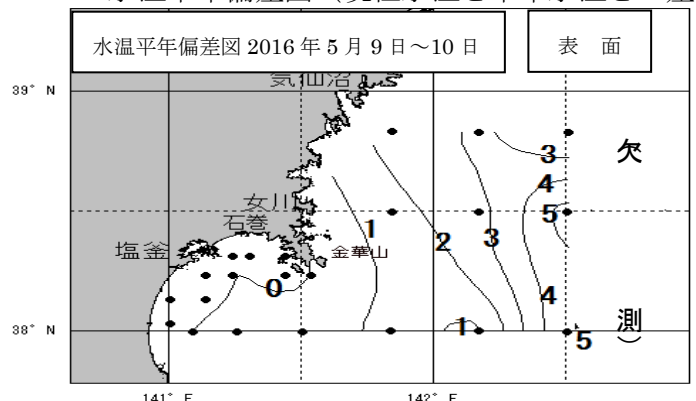
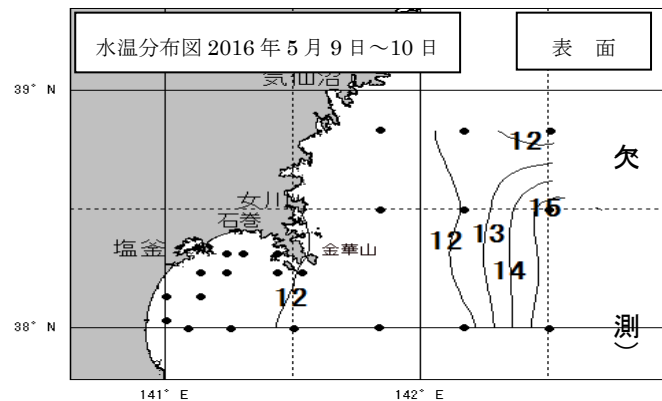
(一社)漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第1分枝は青森県沖、第2分枝は三陸沖で停滞しています。下北～金華山の沿岸を混合水(津軽暖流、北上暖水、親潮)が南下し、周辺は10～11℃台となっています [P2.東北海域の海況図：(一社)漁業情報サービスセンター]。

5月上旬の定地水温は11～14℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼及び江島は平年よりも高め(平年差:+1.6～+2.3℃)、佐須浜は平年並(平年差-0.6～+0.6℃)となっています。桂島と亘理は昨年より低くなっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、8～9℃台となっており、昨年よりも高くなっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

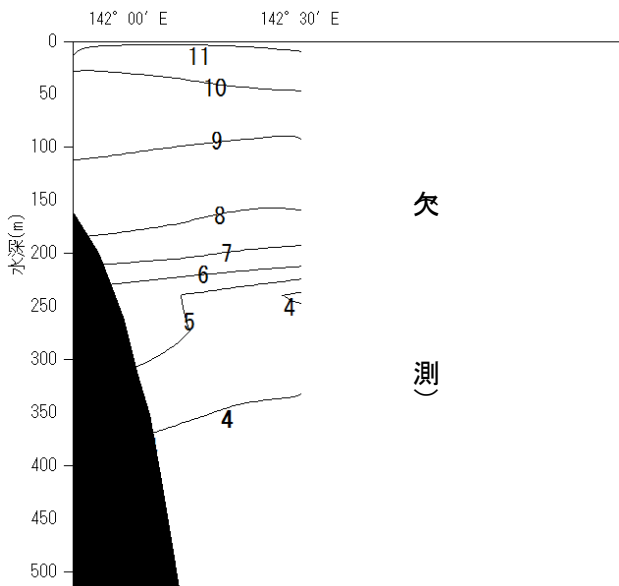
・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)



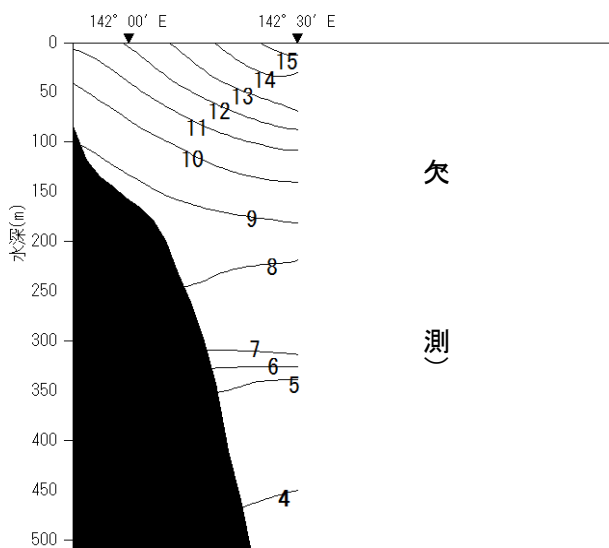
※海洋観測はみやしおと開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

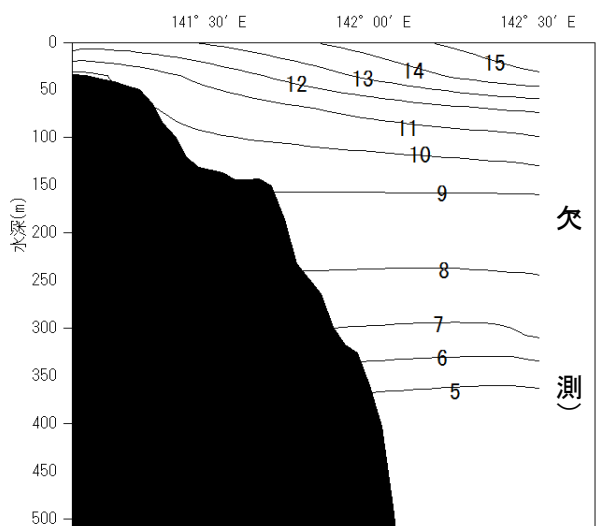
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

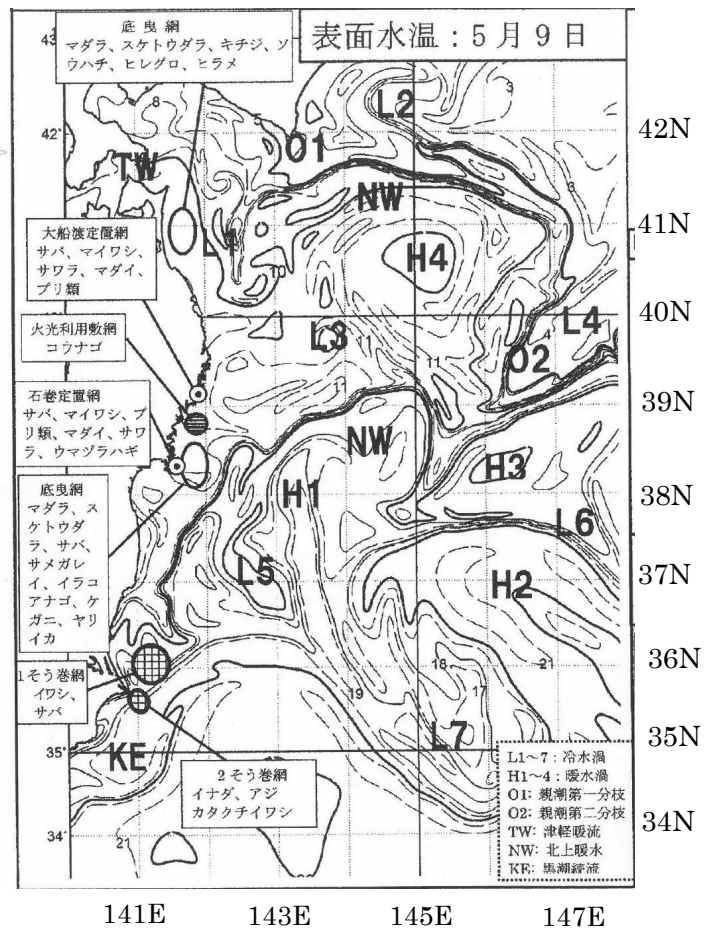


38° Nライン(亶理沖合ライン)



2016年5月9日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

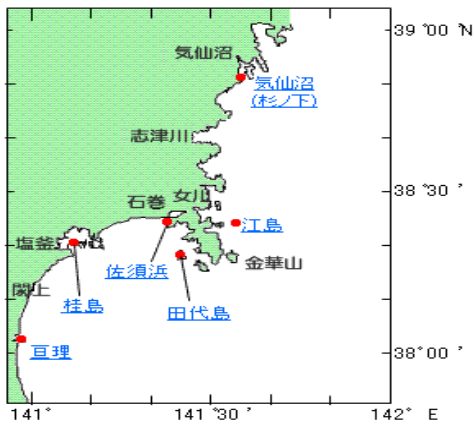
【海況】(5月9日表面水温)

- ・親潮第一分枝(O1, O2)は停滞。
- ・下北～金華山の沿岸を混合水(津軽暖流, 北上暖水, 親潮)が南下し, 周辺は10～11℃台, さらに12～14℃台が日立付近まで南下。
- ・黒潮(KE; 19～21℃台)は房総に接岸後, 大きく蛇行しながら東進。
- ・常磐～三陸沖141°30'E以東を暖水(12～19℃台)が北上。
- ・犬吠埼周辺は黒潮の影響により昇温し, 16～18℃台。
- ・北上暖水と南下混合水は日立～大船渡沖で明瞭な潮境を形成(13～16℃)。

【漁況】(5月2日～5月9日)

- ・まき網: 鹿島沖でマイワシ大中羽主体, 犬吠埼沖でイナダとアジなどを漁獲。
- ・定置網: 金華山周辺定置網ではマサバとマイワシ主体に操業。サワラやマダイなどが増加。
- ・コウナゴ(イカナゴシラス): 5月8日夜は仙台湾沖で漁場形成されず, 歌津沖で操業。

・定地海洋観測



観測点	5月上旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	11.8℃ 高め	1.7℃	0.3℃
江島	11.1℃ 高め	2.3℃	1.3℃
佐須浜	12.8℃ 平年並	-0.2℃	-1.4℃
桂島	14.1℃ -	-	-2.8℃
巨理	13.6℃ -	-	-1.6℃

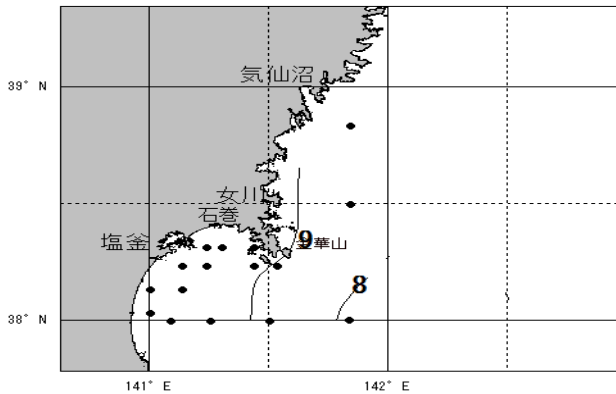
※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差：気仙沼(杉ノ下) (30年), 江島 (30年), 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は,

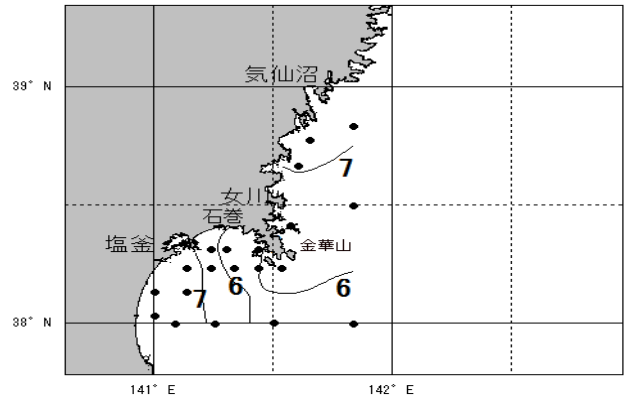
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html> でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2016年5月9日~10日)

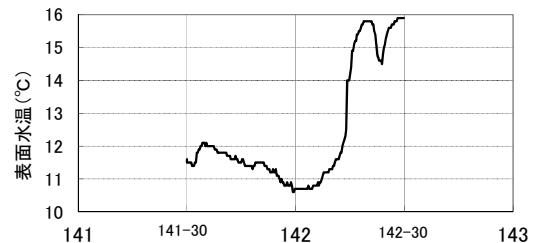
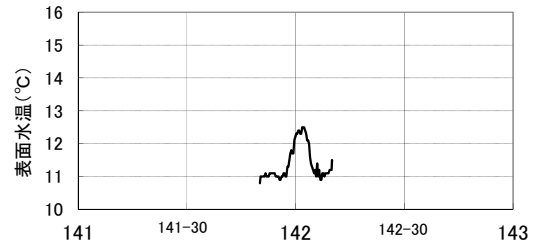
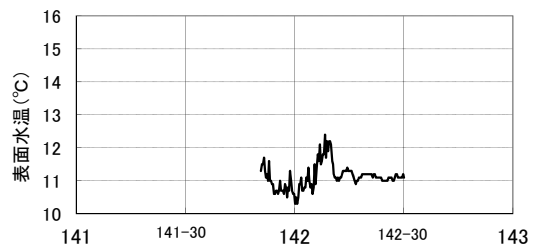
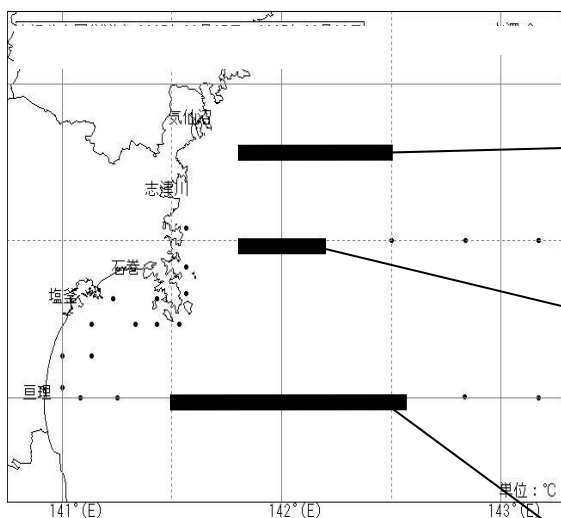


・海底直上水温(2015年5月7日~11日)



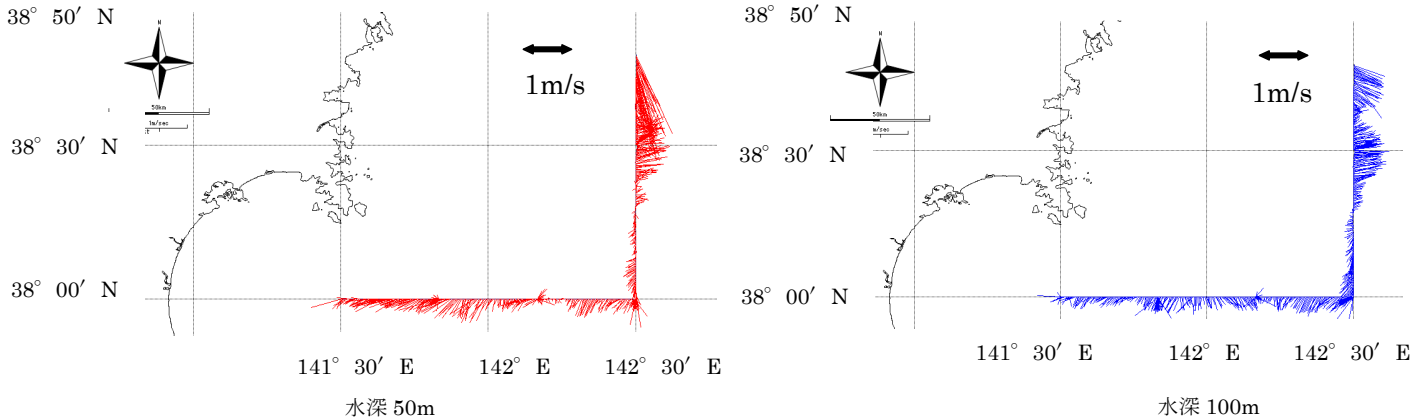
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。機器調整を行ったため、途中からの観測になりました。亶理沖 (38° N ライン) は概ね流速 1m/s 以下の南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 4 月の水揚量を見ると、昨年同月比でマイワシ、サバ類の定置網の水揚げが大幅に増加しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年4月1日~4月30日)

単位:t

魚種	沖底	小底	旋網	定置網	刺網 全漁法	延縄	その他	総計	前年比(%)
マイワシ	0	0		1,004			4	1,008	117,462
カタクチイワシ							6	6	108
サバ類	37	1	446	3,396	0		25	3,906	1,063
マダラ	297	5		13	7		8	330	27
スケトウダラ	429	0		0	0		0	430	28
キチジ	13						0	13	99
ヒラメ	14	5		0	7		1	28	91
ババガレイ	19	0		0	1		3	25	48
サメガレイ	33	0			0		1	34	153

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 春漁の水揚げ状況について

本県のコウナゴ(イカナゴ仔魚)火光利用敷網は、3月28日から操業が開始され、5月10日現在で892トンの水揚げとなっており、昨年度同期比で54%となっています。オキアミについては8,049トンで、昨年同期比55%で終漁しています。メロード(イカナゴ成魚)すくい網については1,109トンで昨年同期比79%で終漁しています。